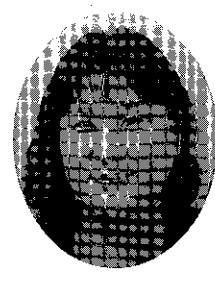


P T Aだより

発行
永徳町立鳴門高等学校 P T A
印刷
潮渦印刷美術印刷(有) 長町

P T A会長 あいさつ
ご卒業おめでとう
います

岡田佳余子



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから進学や就職など、それぞれの新しい道を歩むこととなりますが、皆さんの進む道が輝かしいものとなりますように、お祈りしております。

また保護者の皆様、お子様が立派に成長され、今日この日を迎えられるましたことを心よりお祝い申し上げます。そして校長先生はじめ先生方におかれましては、子どもたちをここまで温かく導いてくださいましたことを、保護者を代表致しま

して、心より御礼申し上げます。卒業生の皆さんは高校生だった三年間は短かったですか。長かったですか。面白かったり大変だったりと毎日忙しかったでしょうか。

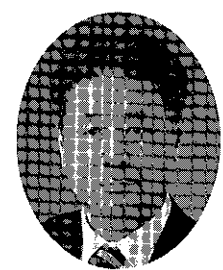
私が高校を卒業してから既に30年余り経っています。その当時に部活の仲間と一緒に四国大会に出場できるといふに必死に練習したことや、中間や期末テストで徹夜してでもと頑張ったことなど、辛くても努力したことは、自分の中でよい思い出と自信となつて今でもよみがえってきます。後悔したり、反省したり、悩んだりしたことがあつても、遊んだり、笑ったりと毎日楽しかったなと思います。

皆さんにはこれから自分で選んだ新生活が始まりますが、新生活を充実した日々にするように、精いっぱい努力し、一生懸命頑張

って毎日を過ごしてほしいと、切に願っています。さて、今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、例年ならばお手伝いしていた文化祭や体育祭の参加見送りやP T A役員会の中止、校外のP T A研修会の中止など、主だった活動を行えないままに一年が過ぎてしまいました。私がP T A会長だった二年間には何も活動ができなかったことは悔やまれますが、残るP T A役員と保護者の皆様と一緒に、子どもたちが学校生活を安心して定めて過ごせるようなお手伝いをしていくように考えていけたらと思っております。保護者の皆様。どうか、近年の不安定な状況であるからこそ少しでも明るく楽しめるように、P T A活動の積極的な参加をしていただきますよう、他の役員共々お待ちしております。

あいさつ

学校長 藤井 敬久



依然として新型コロナウイルス感染症の不安が払拭できない中、令和三年度が終わろうとしています。この二年間、保護者の皆様方には、式典や渦高祭など様々な学校行事に参加していただき、予定が突然中止や変更になり、たいへんご迷惑をおかけしました。

今後は、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、従来の活気あふれる学校生活を取り戻せることを教職員一同願っております。三月一日は、第十回卒業証書授与式です。卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業後の進路は多岐にわたり、地元を離れ、新天地で新たな世界に胸躍らせる時期であると同時に、その反面、進路の違いによって仲のよかつた友人と疎遠になるなど寂しい思いをすることが増えたり、就職して社会人と

して初めて社会の荒波に揉まれ、辛い思いを経験する人もいるかと思えます。しかし、皆さんは、本校での三年間を通しての頑張りや自信と誇りを持ち、夢に向かって頑張つてほしいと思います。また、保護者の皆様方には、これからのP T A活動等で得た保護者同士や学校との繋がりを大切にし、お子様を共に支え合う仲間になつていただけたらと思っております。卒業するに当たり皆さんにメッセージを送ります。私たちの世界は謎だらけです。しかし我々人類は、謎を見つけ、それを解くことにより人類を発展させてきました。謎が解けたとき、同時に新たなより深い謎を発見することがあります。科学の進歩は、その繰り返して常に、より深い真理へと進んできました。知に限りはありませぬ。知から知へと無限に知の世界は広がります。

ここで、車いすに乗った天才といわれた宇宙物理学者ステイブン・ホーキング氏が多くの人を勇気づけたメッセージを紹介します。宇宙の中で私たちの知性が達成できることに限界はない。私は、限界というものを感じない。

・想像力を解き放とう。よりよい未来を作るために。

・人生がどんなに困難に見えても、必ずできることがある。諦めさえしなければ、生きていさえすれば必ず望みはある。

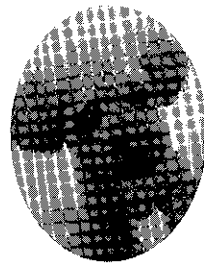
自然を知り、また人間を知ることが楽しいことです。「知る喜び」すなわち好奇心を持ち続けることが人間社会を豊かにする大切なポイントになります。そしてこのことを意識して実行してほしいのが、皆さん若い方です。明るい未来を創生する力を発揮して、今後の人生をポジティブに捉えて頑張つてほしいと切に願っています。

結びになりますが、保護者の皆様には、今後とも鳴門渦潮高校の教育の充実と発展、地域の未来を支える子どもたちを地域で責任を持って育てていくためにも、学校・家庭・地域が一体となり、教育活動に取り組めますよう変わらぬP T A活動の協力を改めてお願い申し上げます。

部長・副会長より

三年間を振り返って

家庭教育研修部部長
三年 前川 理江



コロナウイルスとの共存生活も三年目に突入しようとしています。娘が入学してPTA役員として活動してきたのは最初の一年間だけと、なんとも寂しい思いと共に、今後この活動を引き継ぐ事もままならない状態での卒業は責任すら感じてしまうものであります。携わっていた皆様、この活動はもって楽しいものであり、子供たちや学校と関わる事の嬉しさややり甲斐などを肌で感じていた。PTA総員で失

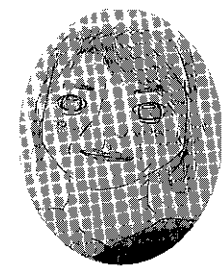
ナ禍の影響で予定されていた行事や活動に何一つ参加する機会も無く、鳴門渦潮高校創立10周年の節目を、生徒を含め関係者の方々と盛大に迎える準備構想は叶う事無く終えてしまった事実。実は言うまでもありません。しかし、そんなコロナ禍においても、子供たちはブレる事無く進学、就職、それぞれの道を自分の力で切り開いています。この一年間を振り返ってみても各部分において素晴らしい成績を収めており、無観客試合や多くの規制の中、子供たちをサポートして来られた保護者の方々、対策や指導にご尽力いただいた先生方あつての賜物だと感じております。本当にありがとうございます。

先日、女子サッカー部の全国大会が淡路島で開催され応援に行かせていただきました。コロナ禍においては、他の部活動の応援に行ける事が当たり前では無くなってしまうましたが、卒業を控えた三年生にとって全国の大舞台での友達有志を、娘と共に応援に行け

た事は本当に嬉しい事でした。普段、私自身も含め自分の子供たちの大会の応援しか行く機会が無い方も多いと思いますが、行ってみて娘が友達や学校とどんな関わり方をしてきたのか、また、子供たちを支える学校関係者、保護者、OBその他の地域の方々の姿を、学校を離れた遠方にもかかわらず目にする事が出来ました。この姿が本来の学校生活であると感じました。コロナ禍で閉塞された学校生活が、一日も早く社会に解放される事を心から願います。

副会長として

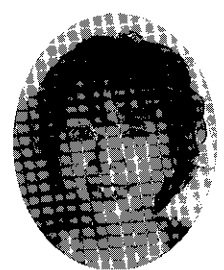
PTA副会長
三年 久保井真実子



皆様には日頃からPTA活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。大半のPTA行事、研修会が中止、延期となり活動がなかったのが現状です。名ばかりの副会長でした。このような未曾有の事態の中でも、先生方にご尽力いただいたお陰で、こども達も、色々な経験をすることが出来ました。本当にありがとうございます。

困難の中に感謝

PTA副会長
二年 藤本 美智



わたしもこども達を見守る中で、感じたこと、経験したことを、今後の生活に生かしていけたらと思っております。最後になりますが、三年間、微力ながらPTA活動に参加させていただき、楽しい思い出ができました。ありがとうございます。

でもこれがほんとに最後の最後。母親として上の子の時には経験しきれなかった事を子育ての集大成として出来る限りやってみようという想いでPTA活動にも非力ながら積極的に手を挙げさせて頂きました。しかしながら、入学した年からコロナに振り回され、通常であれば文化祭や体育祭イベント等、またその他様々な研修、そのような活動を通じて子供達の様子を間近でのぞかせてもらったり、共に色々な行事に参加できる事を楽しみにしていたのですが、二年目が終わる現時点で何ひとつお手伝い出来る事はないままに、何か少しでも出来る事がないかと模索する毎日が続いています。

見失わず日々出来ることを頑張つていきましょう」との入学当初の顧問の先生のお話を胸に、親子共々残り少ない高校生活をできる限り有意義なものにしようと思つていきます。

目標としていた大会が次々と中止になった年、それでも黙々と稽古に励んでいた先輩達の姿や保護者の方々の想い、そんなやりきれない状況を目の当たりにしてきたのがあります。状況は日々前進後退を繰り返しながらも少しずつ良くなって、今は大会もなんとか開催され保護者の観戦も一部可能となりました。残念な事が多かったからこそ、あたりまえの平常に戻りつつあるだけのこの状況にも感謝せずにはいられません。息子も楽しみにしていた北海道スキー研修の行き先が変更になり、一瞬残念そうにしましたが「行けるだけありがたい」との言葉。そこにこのような状況下だからこそ、感謝の気持ちが見えました。

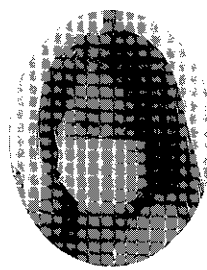
ましたが、イレギュラーなハプニングの連続の中で剣道においても人としてみても一番大切な「感謝」の気持ちをしっかりと学べているように思います。これから先、今以上に困難な状況が予想される中でも子供達には決して目標を見失わず、逆境の中にこそ必ずある小さなチャンスを逃す事なく確実に掴み取れる人間に成長していつてほしいと思えます。そして、日々変わらず学校に行けてかけがえのない仲間達と同じ目標に向けて頑張る時間を与えられている、私達保護者もそれを見守りサポートする時間を与えられている、そんな「今」に感謝の気持ちをどうか忘れずに。

子育ての時間には限りがある事を痛感している今、この鳴門渦潮高校での残り少ないPTA活動を、息子との毎日を、楽しく有意義なものにできたらと切に願っています。



コロナ禍でも彩のある高校生活を

PTA副会長
一年 福山 恭子



二〇二一年の春、渦潮高校に息子が入学してから早くも10ヶ月が過ぎようとしています。コロナ禍ということでも一度も集まることもなく、副会長となりましたが、どうぞよろしくお願います。

昨年はPTAとしては活動がありませんでしたが、子供たちは体育祭や文化祭を経験することが出来ました。学生生活が少しずつ取り戻せていることに感謝しつつ、快適な日常にはまだ遠いことに不安を感じます。

コロナによつて影響を受けたものは何だと思う？と息子に聞くと、返ってきた答えは「青春」と「危機感」。

アンバランスな回答ではありましたが、確かに彼らの「青春」には空白の学生時代がありました。

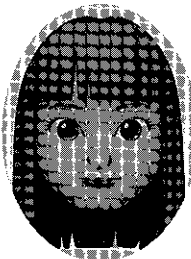
代がありました。学校にも行けず、部活動も出来ず、どうしようもなかった毎日。

コロナ禍ではありませんが、子供達には諦めるばかりではなく出来ることを今出来る形で、様々なことに取り組んで欲しいと思えます。空白ではなく、彩のある高校生活を送れるように。

役員より

元の生活に……

三年次委員長
松岡ますみ



新型コロナウイルスの影響で今年も部活動の試合、渦潮文化祭・体育祭も無観客というのが当たり前になってきて、子供達の活躍が見られないのが悔しいです。

デルタ株が落ち着いて、少し光が見えて来たかな？って安心してきた時、オミクロン株が増え始め、去年予

定されていた、三重県とわか国体に姉妹ペアでのビーチバレーの出場も決まっていたのに、中止になり、すぐく残念でした。そして、部活動のバレーボールでは三年生最後の春高予選も大会があるのか心配でしたが、徳島県予選は決勝で負けて2位で終わってしまいました。

長女、次女と春高という全国大会への出場を夢見ていたのに残念でしたが、あとは残った三女へ託して、渦潮バレー部が春高全国大会に出場できるよう練習にも励んでもらいたいです。

コロナに負けずに試合や学校生活が元に戻り、この世の中が安心して暮らせますように……。

年を重ねて思うこと

三年 神田由希子



夏と冬のスパン長くない？
春、夏なつナツ夏なつ、秋、

冬ふゆフユ冬ふゆって、ちようどいい時期って短つ！

学校通つてた頃の一年って長いの、大人になつてからの一年ってあつという間なのなんだろう。逆に一年を短く感じだしたら大人つてことなのか？

早く大人になりたいって思つてたけど、いざ大人になると年はとりたくないという謎のわがままはなんだろう。沢山失敗もしたし、辛いこともあつた。けどそんなことも、今ではいい思い出になつている。

みなさんはどんな思い出を作りましたか？またこれからどんなことを体験するのでしょうかね。それは後々、かけがえのない思い出となることでしょう。

卒業

三年 仲野有希子



卒業生の皆様、ご卒業お

めでとうございます。共に
過ごした仲間や時間は、一
生の宝物になったことだと
思います。これからも出会
った人を大切に人生歩ん
でいて欲しいと思います。

P T A役員を三年間させ
ていただきましたが、振り
返ればあつという間の三年
間でした。残念ながら、活
動という活動は最初の一年
目ぐらいしか出来なかった
ですが、楽しく参加できて
良かったです。先生方や保
護者の皆様のおかげです。
本当にお世話になりました。
三年間ありがとうございました。

有言実行!

三年 柏木 智恵



ご卒業おめでとうございます
ございます。あつという間に、
高校生活も終わってしま
いました。一年生の後半

「俺、勉強嫌いやけん、皆
勤目指すわ」その言葉を聞
いて、びつくり。

「いやいや、学生なんかか
ら、勉強してよ」と思った
のですが、そこはグツと我
慢して、

「がんばりよ」と言ったの
を、覚えています。

それから数回、

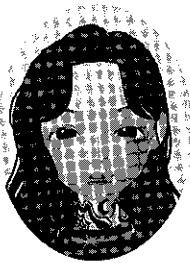
「遅刻しかけて、やばかつ
た」という言葉を、聞きま
したが、有言実行。皆勤賞
です(おめでとう)。有言実
行には、びつくりです。感
心、感心。

四月から社会人になりま
すが、これからも、自分が
決めた事は、最後まで諦め
ず、頑張つて欲しいです。
最後になりましたが、三年
間お世話になりました。

ありがとうございます。

息子へ

三年 岸野 由里



三人目の子供が今年卒業
を向かえます。

小さい頃から身体が弱く
熱をよく出していました。

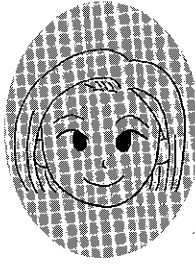
肺炎や不明熱・リンパ腫と
何度も入退院を繰り返して
島大病院にもお世話にな
りました。あの時は「どう
なるんだらう」と不安との
戦いで辛い日々でした。今
は、元気で身体も大きく成
長しました。

その息子が迷わず医療の
道を選抜しました。資格取
得を目指し最後まで諦めず
頑張つて欲しいです。

卒業にあたりこのコロナ
禍の中校長先生はじめ担任
の先生方子供がお世話にな
りありがとうございます。

希望ある未来へ

三年 佐野 通代



卒業生の皆さんご卒業お
めでとうございます。かつ
て経験したことのないコロ

ナ禍での学生生活、様々な
規制の中で大変な思いや、
悔しい思いを沢山されたと
思います。しかしこの経験
がきっと将来の糧になるこ
とと思います。先生や友達
と過ごす時間や絆の大切さ
いつもは当たり前と思つて
いた日常の大切さを忘れな
いでほしいと思つています。
そして日頃から思いやりと
感謝の気持ち忘れず、自
分の夢に向かって、一步一
歩進んで行つて下さい。学
生達が夢に向かって走れる
よう親としてこれからも支
えていきたいと思つます。
卒業生の皆様に良い春が訪
れますようお祈りしており
ます。

出と大風揚げを見に行くよ
うになつて。

どんなに寒くてもみんな
で出掛けていましたが、こ
としは天気も悪く初日の出
を拝めそうにないのもわか
つてはいたもののとりあえ
ず出掛け寒いな粘りまし
たが、やはり初日の出を拝
むことはできず、大風揚げ
もなかったため見るものが
できませんでした。

コロナも落ち着き来年は
また違った新年を迎えられ
ることと、こどもたちにと
つてすこしでも有意義な一
年であることを願うばかり
です。

みんな笑顔に

二年次委員長 宮本めぐみ



もう何年になるだろう。
こども三人を連れて初日の

行事が出来ないまま二年生
が終わろうとしています。

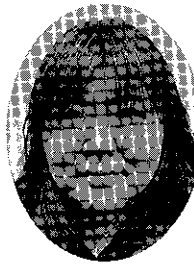
私の高校時代は、休日
にみんなで汽車に乗って徳島
市に買い物に出かけたり、
友達の家泊まりに行つた
り自由に行動出来ました。

その過程で、両親や身近な
人には教えてもらえない色
々な社会のルールも身に付
いていたように思います。

しかし娘達は家の中で過ご
さなければならぬ為、ひ
とりで居る時間や姉妹だけ
で居るスマホを覗く時間が
長いです。やはり人間は人
と話をするという事がとて
も大事だと思います。それ
でも、家が商売をしており
ますので、いつも学校から
帰るとお客さんに挨拶をし
たり、少しですが会話もし
たりしています。

高校生活

二年 平松 香



二〇一九年、世界で初め
て新型コロナウイルスが発
見されてから約二年が経ち
ました。娘の高校生活は、
入学してから今まで殆どの

私も小さい時からお客さ
んと会話をするのが日常で
したので、今では誰とでも
話が出来ます。当時は正直
「鍵っ子」が羨ましいと思
つた事もありましたが、今
思えば有難かったです。
娘達にも充分な躰はな
なが出来ませんが、家に沢
山の人が出入りして会話を

したり、聞く力を身に付けていき、これからの人生に役立つてくれればいいなと思います。

そして、来年こそは自由に外に遊びに行ったり、友達とファミレス行っておしゃべりしたりと、普通のことが普通に出来る世の中になつてほしいものです。

『イチロー』に学ぶ

二年 粟田 敏裕

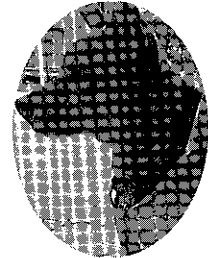


元メジャーリーガー『イチロー』は、よく天才だと言われますが、彼は生まれた時から天才でしょうか？答えは、努力の天才だと言えるでしょう。少年野球時代からの日々の練習があつて今の『イチロー』になつたのではないのでしょうか。

私達も、努力の天才を目指して日々精進して参りましょう。

二年生を終えて

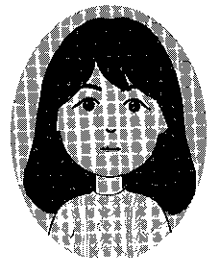
二年 楠本 恵子



入学と同時にコロナ禍となり、はや二年がたとうとしています。その間、文化祭、体育祭、修学旅行など本来一生の思い出になるだろうイベントもままならず、親としてもどうにもならない状態に歯がゆい思いでした。本人も思い描いていた高校生活とのギャップに愚痴を言う日々もありましたが、次第に狭い範囲ながらも子供なりに楽しみを見つけていました。

一年を振り返って

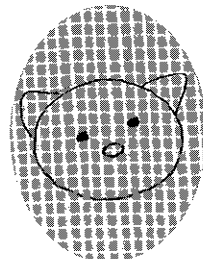
二年 豊原 文子



今年度もコロナ禍での学校生活となりました。しかし、先生方のおかげで不安を感じることなく学校生活を送ることができました。学校行事では、縮小や延期などで今年も例年どおりとはなりませんでしたが、テレビ放送で体育祭や文化祭の様子を見ると今の状況の中で出来ることを楽しんでる姿が見受けられました。

先生方に感謝

二年 藤岡 初美



すっかり考え学び、そして楽しんでほしいです。

今年度、新型コロナウィルスの影響で、部活動、学校行事などで制限が多いですが、そんな中でも子供は遅く成長出来ていると思います。

しばらくはこのような学校生活が続くと思いますが、あと一年更に成長していく子供の姿を見守りたいと思います。

娘の怪我

二年 濫野 奈美

娘は昨年十一月、ラグビーの試合中に左膝前十字靭帯断裂という大きな怪我をしました。小さな頃から比較的体格にも恵まれ、色々

なスポーツを経験してきましたが、ここまでの大きな怪我は初めてであり、大変ショックな出来事でした。

病院の先生から「今後、ラグビーを続けるなら手術は必要ですが、ハードなスポーツを続けたいなら手術は不要です。」という選択肢を提示されました。娘は即座に手術を選択しました。それはラグビー部の仲間ともう一度、一緒にグラウンドに立ちたいという一心であつたかと思えます。

昨年末に靭帯再建手術を受けて長期入院生活を送ることになりました。娘にとって初めての手術や入院は大変不安だったかと思いますが、先生や仲間達からの励ましのメールや手紙をいただき、徐々に元気を取り戻していききました。

しかしながら、学校を長期間休むことは避けられず、授業やラグビーの練習に行けず、大変楽しみにしていた修学旅行中も病院で一人過ごすこととなりました。治療に専念すると言つても非常に悲しい時間だったかと思えます。

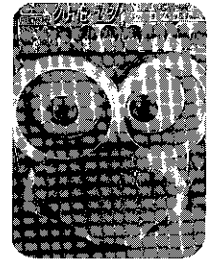
今後、リハビリを継続して頑張る、夏以降の最後の大会には再びグラウンドに立っている娘の姿が見られることを楽しみにしています。残りわずか一年間ですが、私達家族も全力でサポートするのでどうか充実した後悔のない高校生活を送つてください。そして、周りのみんなに感謝を忘れず、ラグビーを通じて強い人にも成長してください。

いつも応援しています。



ウィズコロナ

二年 岡川奈津絵

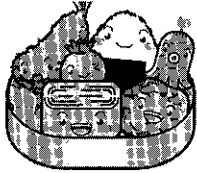


マスク生活も二年になりました。毎朝コロナから始まり、コロナで終わるテレビ、オミクロン株による感染急大で学校や保育園の休校、休園も急拡大し、子どもたちも保護者もストレスが溜まっていると思います。うちの娘も去年、凄く楽しみにしていたコンサートへ行く予定でしたが、緊急事態宣言が発令されたのもかかわらず、コンサートは開催、断念せざるを得ず悔しい思いをしました。行く予定だったその日は、平静を装って買い物をしていたのですが、席がアリーナの前から3列目だと分かった大号泣。なんとか慰めようとしたのですが、しばらく無理でした。どうにもでき

ないことは人生に何度かあるけど、自分の中で消化して切り替えること。日が経つのを待つしかない。むかし、「日葉」という言葉を聞きました。どんなに悲しいこと、理不尽なこと、許せないこと。一日一日と過ごす事で少しずつ和らいでいく。何とも言葉が見つからない事態に、「日葉」だけが少しずつ効きそうに思いました。

お弁当作り

二年 大垣 和美



毎朝5時に起きて子供三人分のお弁当を作っています。長女の好む、あつさり系野菜、魚のおかずだと長男、

次男はプーイング。長男、次男の好きながつつり系、お肉、揚げ物のおかずだと長女はプーイング。と、なかなか大変です。部活動で補食が必要な時は、おにぎりや、サンドイッチなども作るので、朝からバタバタです。レパートリーが少ないので冷凍食品も活用しながらなんとか作っています。

この春に長男、長女が就職しお弁当が不要になりました。三つのお弁当作るのもおしまいとなると、急に寂しくなってきました。後は渦潮高校に通う次男のお弁当だけです。あと一年、愛情をこめてがつつり肉系弁当作りしたいと思います。

この一年・・・

二年 瀬山みゆき

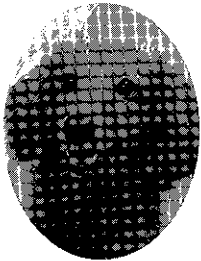


何もできないまま一年が過ぎようとしています。コロナウイルスの影響で、多くの学校行事や部活の試合が短縮、中止になりました。そして子供たちには、したい事があっても色々我慢させてしまいました。早くコロナウイルスが終息し、あたりまえの日常、笑顔のたえない生活を送りたいです。

この四月渦潮高校へ次男が入学しました。すでに三年生になる長男が同校でお世話になっています。兄弟そろって同じ学校へ通学できるのも今年度で最後となりました。そう思うと、子ども達の成長の早さをひしひしと感じています。

兄弟そろって

一年次委員長 前場 輝実



この一年間は兄・弟のお弁当を毎日2つ作ってきました。同じおかずには白いご飯・・・たまにはどちらか嫌いなおかずも入っていたと思うのに、二人とも残さず完食してきてくれます。お兄ちゃんはこの三年間「お母さん今日もお弁当美味しかったよ、ありがとう」と言ってくれました。この言葉を聞くたびに、感謝の気持ちが伝わってきて、うれしくなります。そんなお兄ちゃんも卒業です。弟はあと二年渦潮でお世話になります。二人とも感謝の気持ち忘れずそれぞれの道を頑張ってほしいと心から応援しています。

最後にりましたが学年委員長を引き受けさせていただきましたがコロナ禍で行事等が行えず、何の参加も出来なかったことに残念な気持ちでいっぱいです。来年度はコロナが終息し、PTA活動が出来るよう心から願います。一年間ありがとうございました。

「スマホのある 高校生活」

一年 受川 知香



高校生になった息子にスマホは欠かせません。スマホは息子が情報や知識を得るツールの一つです。それによって交際範囲や行動範囲が格段に広がりました。まず、多くの人とSNSでつながりました。高校進学で離れた他校の生徒や県外の高校生とさえ話した

いときにいつでもつながることができません。夜遅くまで部屋から話し声や笑い声が聞こえてくることもよくあります。同じく剣道ががんばっている全国の高校生たちともつながり、遠征先や試合で会うこともあるようです。SNS上ではいえ相手を知っていることが強みになるのか、試合で対戦することがあっても緊張が少しほぐれる、というようなことも言っていました。

また、いろんな場所へも遊びに行くようになりました。その際のアクセス方法はスマホでサツサツと調べます。移動するだけでポイントが貯まるアプリもちゃっかりインストール済みです。

外食もよくするようになりました。支払いには電子マネーを使い、ポイントも貯めてとてもお得に買い物をします。

スマホを便利に使う一方で、何が正しいかを判断で

きているか、使い方を間違えていないかということも息子とよく話します。スマホを安全に上手に使ってこれからも充実した楽しい高校生活を送ってほしいと思います。



一年を振り返って

一年 安藝まり子

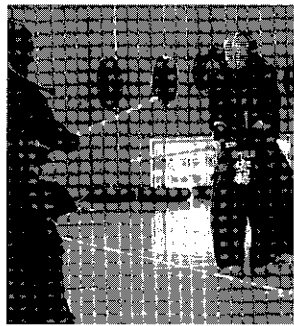
娘が渦潮高校に興味を持ったのは中学生の時に初めて稽古会に参加させて頂いた時。帰りの車の中で『渦潮の稽古会めっちゃ良かった！高校は渦潮行きたい！』と。そこから稽古会がある度に参加、益々渦潮剣道部の魅力にハマり念願の入学。

実際に入学して、最初は練習メニューが覚えれん！みんなに迷惑かけとる！上

段の構えの人がおるけどどうしたら良いか分からん！突き技が怖い！と弱音ばかり吐いていた娘。道着と面タオルがしぼれるほど汗だくにして帰ってきてはご飯の前に一眠り、トレーニングだった翌日は筋肉痛で悲鳴を上げながら起きてくる。

こんな調子で大丈夫なんかな？と心配をよそに、学校生活も部活も充実しているようで、毎日学校に行くのが楽しいようです。そんな娘も早いものでもうすぐ二年生。

世の中コロナ禍で大変な状況の中、今しかない青春を日々楽しみ、頑張っている娘をみると自分も出来る限りのサポートをしながら見守っていききたいなと思います。



全力サポート

一年 徳永 未希

中学三年生のとき部活見学に参加した息子から鳴門渦潮高校剣道部で剣道がしたいと言われて受験し入学してから、早一年が過ぎようとしています。

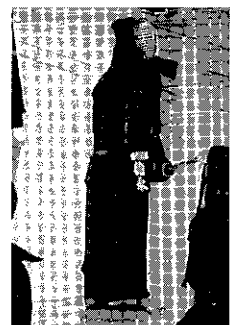
乗り継ぎが必要な汽車通学！汽車に乗ることも慣れていないのに大丈夫かな？不安から始まった高校生活ですが、寝坊することもなく、毎日元気に行つてきますと登校する姿を見ると、一年でずいぶん頼もしくなつたなと感じます。

自分の意見を言葉にするのが得意でない息子を心配していました。息子の話から心配はなくなりました！

顧問の先生方、先輩、同級生の皆さんの支えがあり、目標に向かって日々を過ごさせているのだと感謝しています。

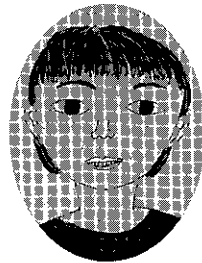
成長を続ける息子に負けないように母も全力でサポート

トしていききたいなと思つています！



ありのまま

一年 田形しのぶ



何もわからないまま、学校生活が始まって、あと少しで一年が過ぎようとしています。学校生活も楽しんでくれたことでしょうか。

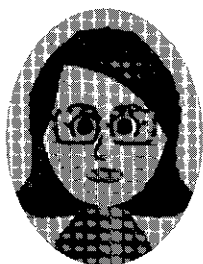
二年生になっても、このままの学校生活、学生生活を楽しんでほしいと思います。

ありのままです。



入学から一年

一年 南條 佳恵



娘が入学してあつと言う間に一年が過ぎようとしています。

我が子の初めての受験。昔の記憶ですが自分の受験の頃とは学校や学科も統廃合で全く違うようでした。娘にはうまくアドバイスも出来ず、毎日が不安だけでした。そんな娘はホントに受験生？と思うほど落ち着いていて・・・(何も考えてないだけ?)

志望届も最後まで迷いました。将来やりたいこととか色んな話をしたのを覚えています。最終的に、将来への選択肢が多い本校が娘に合っていると思ってお願ひしました。渦高で多くのことを学び、将来へ繋げてほしいと思います。

かもしれません。

通学中に事故に遭い、還らぬ人となった報道を見聞きする度、決して他人事ではないと思うのです。

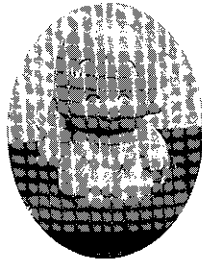
勉強よりも何よりも、大事なのは命です。

無事に帰ってきてとの思いを込めて毎朝「いつたらっしやい」と声をかけています。

今日もどうか事故に遭いませんように。

一年を振り返って

一年 山尾 家正



この一年間はなぜか特に早く感じました。コロナ禍において、公私ともどこかしら緊張しているせいかもしれません。子どもたちにおいてもそうではないかと思われれます。

そのような中でも、学校生活では毎日の学習に加え、コロナ対策を実施した上で、文化祭や体育祭を経験できたことは、大変有り難く、子どもたちにとつてはいい思い出ができたことと思います。子どもたちにとつても、不自由で制約ある場面の多い毎日ですが、「コロナ禍だからこそ育ち得るもの」もあるように思います。毎日の自己体調管理にはじまり、時間を上手に使うこと、自分の行動正誤の判断など、ややもするとあまり考えず流されるままの生活の中に、けじめと緊張感を得られる機会になつていくのではとも思います。もう少しですが、引き続き「自分のことは自分で管理」する子どもたちであつて、その個の意識と行動が、友だちへ教室へ学年へ学校全体へ広がり、自分の環境が良いものになるようにと願っています。

希望の光

一年 吉永美代子



渦潮高校の南側は農地が広くあり、夏は鳴門金時が勢いよく葉を繁らせ、冬は

大津大根がしゃかりきに実り、安定した鳴門農産ブランドを繋いでいます。私の主な作業は日中の畑仕事で、嫁いであらうとこの大地、渦潮高校側の畑と向き合っています。地元の家嫁です。そして息子が渦潮高校の生徒になると知った時は願ったり叶ったり、今でもとても嬉しく思っています。

さて、畑から見た地元民目線の渦潮生についてお話しさせて下さい。渦潮生、元気がいいです。礼儀正しいです。目が合ったら「頑張るよー」と声をかけますが、

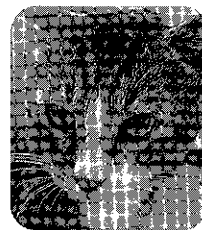
すると気持ちよく「はい！」とか「うっす！」とか、返事してくれれます。第2グラウンドでの体育してる様子は生徒それぞれに個性があつて一緒に畑仕事してる祖父母世代も思わず作業の手を止め若さゆえのあどけなさに吹き出すくらい、元気はつらつで微笑ましいです。部活でも空によく響くいい声が大津の畑をこだましてます。若い子がいてくれるだけでも地元周辺に活気がみなぎります。これからの社会経済をこのような元気で挨拶のできる子どもたちが繋いでいってくれるんだと思うと、希望の光が見える同時に、私ら団塊ジュニア世代も負けてはいられないわと、襟を正す思いです。

最後になりましたが、コロナ対策が騒がれてる昨今、地域交流のイベントがなかなか持てませんが、今は静かに見守ることで、渦潮生の皆さんの健やかな成長を

地元民としても祈つております。

一年間を振り返って

一年 森本 絵理



この一年間はなぜか特に早く感じました。コロナ禍において、公私ともどこかしら緊張しているせいかもしれません。子どもたちにおいてもそうではないかと思われれます。

そのような中でも、学校生活では毎日の学習に加え、文化祭や体育祭を経験できたことは、大変有り難く、子どもたちにとつてはいい思い出ができたことと思います。子どもたちにとつても、不自由で制約ある場面の多い毎日ですが「コロナ禍だからこそ育ち得るもの」もあるように思います。毎日の自己体調管理にはじまり、時間を上手に使うこと、自分の行動正誤の判断など、ややもするとあまり考えず流されるままの生活の中に、けじめと緊張感を得られる機会になつていくのではとも思います。もう少しですが、引き続き「自分のことは自分で管理」する子どもたちであつて、その個の意識と行動が、友だちへ教室へ学年へ学校全体へ広がり、自分の環境が良いものになるようにと願っています。



第10回 渦高祭

2021年10月1日(金) 体育祭【プログラム】

- ①ラジオ体操 ②ドリブルリレー、キャッチング・ザ・スティック、リングキャッチ、ゴム跳び
- ③部活動対抗リレー（男子予選） ④長縄跳び ⑤部活動対抗リレー（男女決勝）
- ⑥電卓計算競走 ⑦HR対抗400Mリレー ⑧HR対抗ダンス



今年の渦高祭のテーマは、

『Let's enjoy Uzu fes! ~距離は遠く、心は近く、 今しか出来ない青春を~』

でした。

体育祭は10/1(金)、文化祭は11/18(木)に実施されました。

2021年11月18日(木) 文化祭【内容】

模擬店 3年生(食品転売) 模擬店 2年生(その他)
展示・体験 家庭クラブ、エシカルクラブ、書道、写真、イラスト、茶道、軽音楽、吹奏楽、
インターアクト、UZU cafe



スポーツ科学科

10年目の

「スポーツ拠点校」

スポーツ科学科

学科長 中嶋 宏彰

鳴門渦潮高校スポーツ科学科の専攻実技種目は、平成二十四年に5競技でスタートし平成二十八年からは8競技となった。

本校スポーツ科学科の専攻実技種目は、徳島県高等学校における運動部の中核に位置付けられ、令和五年から新たにスタートする令和五年度徳島県公立高等学校入学者選抜「実績重視枠」として、引き続き競技力の向上の推進を担うことが県教育委員会から十二月に発表された。

主な活動実績

このことは次の実績から見て明らかである

- 女子サッカー 全国高校女子サッカー選手権大会 平成二十四年から10年間連続出場 選手権(内ベスト8：令和二年第28回、平成三十年26回) インターハイ(令和二年第3位)

野球 平成二十九年 第99回全国高等学校野球選手権大会

バスケット 平成二十八年ウインターカップ

女子ラグビー部 U18全国女子セブンズ4年連続出場 令和二年度ベスト8

陸上競技 インターハイ入賞

男子バスケット、ウエイトリフティング、柔道(個人)はインターハイ出場

さらに、拠点校としても注目が集まる中、来年度には本県を中心とする二〇二二年インターハイが開催されます。地元枠での出場などもあり、例年より多くの参加の機会が与えられます

また、競技のみならず高校生がインターハイの運営や活動を支援していく高校生インターハイ活動も各々でおこなわれはじめています。本番での大会には出場する選手以外にも、高校生がサポーターとなってボランティア活動、清掃活動、競技運営補助にあたっていくこととなります。

スポーツは、健康の保持増進、体力の向上に資するとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や、とりわけ青少年にとっては、スポーツが人間形成に多大な影響を与えるなど、心身の両面にわたる健全な発達に不可欠なものとなっています。

スポーツというツールを通して心もからだも大きく成長して欲しいと思います。

総合学科

総合学科長

柳本 邦明

総合学科には、自然科学・人文科学・総合ビジネス・情報通信・生活福祉の5つの系列があり、将来の進路や自分の興味・関心、適性などに応じて二年次から系列を選択し、学びたい科目を勉強していきます。

「自然科学系列」

理工系・看護医療系・情報系・食物栄養系学部への

進学を目指している系列であり、数学や理科などの科目(数学Ⅱ・B・Ⅲ、物理・化学・生物・地学等)を中心に学習し、物事を科学的に探求しようとする姿勢や能力を身につけることを目指しています。

「人文科学系列」

法学部・経済学部・教育学部・外国語学部など文系学部への進学を目指している系列であり、国語・英語歴史などの科目を中心に学習します。また、社会人に求められる基礎学力(読み書き)の基盤となる科目も選択することができたり、日本漢字能力検定、実用英語技能検定などの取得も可能です。

「総合ビジネス系列」

「資格による進学・就職のすすめ」

総合学科

商業科主任 谷本 浩志

本校の総合ビジネス系列では、商業科科目を中心に

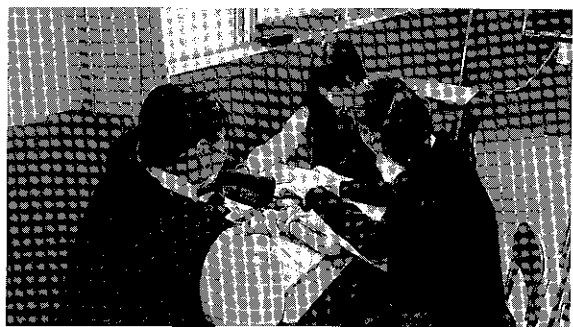
学習をします。商業の学びという主として就職に向けた内容と思われがちですが、本来は就職・進学の際にも対応した自動車というハイブリッドな学びと言えます。

本校はスポーツ科学科と総合学科の二学科を有していますが、大学入試に必要な普通科科目は学科の特性上、普通科高校と同じようにはいかない状況があります。そこで商業に関係する資格を利用した進学という方法を有効に活用することで、難関と思われる進路目標を達成することが可能となります。

国公立大学をはじめ、関東では「ARCH(明治・青山学院・立教・中央・法政)」や「日東駒専(日本・東洋・駒沢・専修)」、関西では「関関同立(関西学院・関西・同志社・立命館)」や「産近甲龍大経(京都産業・近畿・甲南・龍谷・大阪経済大学)」等と呼ばれる有名私立大学の推薦には、商業系検定一級の取得が条件として非常に有効となっています。



検定対策グループワーク



また県内の私立大学や専門学校に進学する場合でも、一般試験ではなく資格によ

かもしれない。通学中に事故に遭い、還らぬ人となった報道を見聞きする度、決して他人事ではないと思うのです。

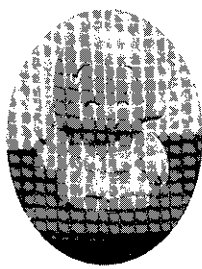
勉強よりも何よりも、大事なのは命です。

無事に帰ってきてとの思いを込めて毎朝「いつらつしやい」と声をかけています。

今日もどうか事故に遭いませんように。

一年を振り返って

一年 山尾 家正



この一年間はなぜか特に早く感じました。コロナ禍において、公私ともどこかしら緊張しているせいかもしれない。子どもたちにおいてもそうではないかと思われれます。

そのような中でも、学校生活では毎日の学習に加え、コロナ対策を実施した上で、文化祭や体育祭を経験できたことは、大変有り難く、子どもたちにとつてはいい思い出ができたことと思います。子どもたちにとつても、不自由で制約ある場面の多い毎日ですが、「コロナ禍だからこそ育ち得るもの」もあるように思います。毎日の自己体調管理にはじまり、時間を上手に使うこと、自分の行動正誤の判断など、ややもするとあまり考えず流されるままの生活の中に、けじめと緊張感を得られる機会になつていくのではとも思います。もう少しばらくこの状況は続くようですが、引き続き「自分のことは自分で管理」する子どもたちであつて、その個の意識と行動が、友だちへ教室へ学年へ学校全体へ広がり、自分の環境が良いものになるようにと願っています。

希望の光

一年 吉永美代子



渦潮高校の南側は農地が広くあり、夏は鳴門金時が勢いよく葉を繁らせ、冬は大津大根がしゃかりきに実り、安定した鳴門農産ブランドを繋いでいます。私の主な作業は日中の畑仕事です。嫁いであらざつとこの大地、渦潮高校側の畑と向き合っています。地元の家嫁です。そして息子が渦潮高校の生徒になると知った時は願ったり叶ったり、今でもとても嬉しく思っています。

さて、畑から見た地元民目線の渦潮生についてお話しさせて下さい。渦潮生、元気がいいです。礼儀正しいです。目が合ったら「頑張るよー」と声かけますが、

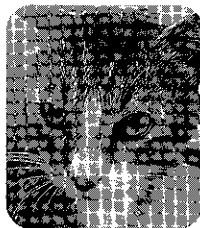
すると気持ちよく「はい！」とか「うっす！」とか、返事してくれます。第2グラウンドでの体育してる様子は生徒それぞれに個性があつて一緒に畑仕事してる祖父母世代も思わず作業の手を止め若さゆえのあどけなさに吹き出すくらい、元気はつらつで微笑ましいです。部活でも空によく響くいい声が大津の畑をこだましてます。若い子がいてくれるだけでも地元周辺に活気がみなぎります。これからの社会経済をこのような元気で挨拶のできる子どもたちが繋いでいってくれるんだと思うと、希望の光が見える同時に、私ら団塊ジュニア世代も負けてはいられないわと、襟を正す思いです。

最後になりましたが、コロナ対策が騒がれてる昨今、地域交流のイベントがなかなか持てませんが、今は静かに見守ることで、渦潮生の皆さんの健やかな成長を

地元民としても祈つております。

一年間を振り返って

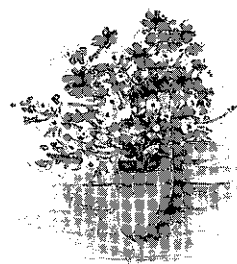
一年 森本 絵理



この一年間はなぜか特に早く感じました。コロナ禍において、公私ともどこかしら緊張しているせいかもしれない。子どもたちにおいてもそうではないかと思われれます。

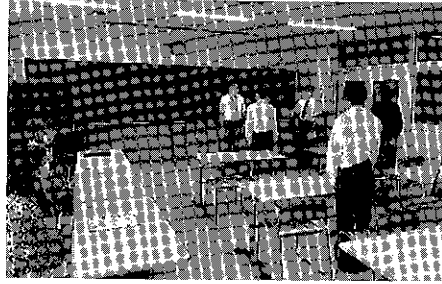
そのような中でも、学校生活では毎日の学習に加え、コロナ対策を実施した上で、文化祭や体育祭を経験できたことは、大変有り難く、子どもたちにとつてはいい思い出ができたことと思います。子どもたちにとつても、不自由で制約ある場面

の多い毎日ですが「コロナ禍だからこそ育ち得るもの」もあるように思います。毎日の自己体調管理にはじまり、時間を上手に使うこと、自分の行動正誤の判断など、ややもするとあまり考えず流されるままの生活の中に、けじめと緊張感を得られる機会になつていくのではとも思います。もう少しばらくこの状況は続くようですが、引き続き「自分のことは自分で管理」する子どもたちであつて、その個の意識と行動が、友だちへ教室へ学年へ学校全体へ広がり、自分の環境が良いものになるようにと願っています。

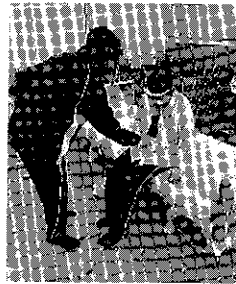


をしなから資格取得に励んでおり、地域の施設からは「とても真面目に働いていて、これからも渦潮高校の卒業生にぜひ就職して欲しい」という声をいただいています。

我が国の高齢化は急速に進み、介護人材不足が大きな社会問題になっています。授業の中で生徒が介護職へのやりがいや楽しさを実感し、将来介護職に就く生徒がさらに増え、また、活躍することを強く願っています。



介護実習出発式



実技科目の授業

生徒指導課

生徒指導と聞くと、問題行動への対応や服装・頭髪指導、校門指導などをイメージすることがあります。しかしそれは、生徒指導の一つの側面でしかありません。本来の生徒指導は、単に問題行動の解決やその対応のためにあるのではなく、「自分を大切に、相手も大切にしながら、適切に生きていく」生徒の育成を指して機能していくものなのです。そして、人間形成の場としてのすべての教育活動の場に作用させていく必要があります。しかし、今までの生徒指導においては、問題行動そのものへの対応といった消極的な面（消極的生徒指導）のみがクローズアップされがちでした。確かに、問題行動を直接解決する指導は生徒指導において大変重要な側面ですが、問題行動を生徒自ら未然に防止することが出来る心を育てる指導（積極的生徒指導）こそが本来の生徒指導の在り方なので

教育相談体制

す。全国で子どもたちがいじめにより、自ら命を絶つという痛ましい事件が相次いで発生しており、誠に残念なことであるとともに決してあつてはならないことです。鳴門渦潮高校では、いじめは、人間として決して許されるものではなく、どの学校でも起こりうるものであるという認識のもとに、アンケートや個人面談等を適宜行い学校におけるいじめの早期発見、早期対応及び早期解決をめざし、学校と家庭、教育委員会などの関係機関と連携しながらいじめ問題の解決に取り組んでいきます。

また、教育相談室を設置しており、悩みを持って教室に入りづらいと思っっている生徒や、健康上の問題で心配な生徒など、教育相談室と保健室で生徒の状況に応じて対応しています。教育相談担当者は、主に専門の養護教諭や特別支援コーディネーターの先生が対応します。

一人で悩まないで、ぜひ

進路指導課

気軽に相談してください。今年度は外構工事なども一区切りし、より落ち着いた教育環境のなかで、生徒たちは充実した学校生活を送ってくれています。一日の始まりである登校風景も地域の方々から渦潮高校の生徒は高校生らしく、さわやかで穏やかな顔つきで登校していく生徒が多いですねと言われます。

ある授業で高校生のイメージを聞いてみたところ、①服装や頭髪が整っていない②さわやか③あいさつができない④明るい⑤何事にも一生懸命できる⑥人を喜ばせることができるということでした。

社会の変化が激しいなか、今まさにこういった人材の育成がもたらされていくのではないのでしょうか。鳴門渦潮高校の三年間で培った力をもとに、それぞれが直面するであろう様々な課題に主体的・創造的に対応し、生徒たちが郷土や母校に誇りを持って、心豊かに人生を送れるように願っております。

就職状況

本年度の求人数については、コロナ禍の影響が心配されましたが、新しく求人をお願いした企業もたくさんあり、昨年度を上回る結果となりました。本校の就職希望については例年同様、生徒のほとんどが県内就職を希望している状況です。

企業の求める人材
今年度もたくさんの企業の方に来校いただき、お話を伺いました。

1. 元気でやる気のある生徒

2. 努力し続けることができる生徒
 3. きまりを守る生徒
 4. チームで仕事ができる生徒
 5. 自分の言葉でものが言える生徒
- これらを学校生活に置き換え、具体的に表すと、
1. 遅刻欠席がなく、元気に挨拶ができ、物事を肯定的に捉えて学校行事等への参加を樂しめる。
 2. 普段の授業を大切に、目標とする資格取得や、所属する部活動で継続的に頑張ることができる。
 3. 善悪の判断ができ、校則等の決まり事が守れる。
 4. 集団の中で自分の役割を把握し、協力できる。
 5. 場に応じた言葉遣いで、自分の考えを的確に表現し、解らないことに対して質問することができる。
- 「静の努力」と「動の努力」
静の努力は、些細な事もいい加減にせず、日々を送る姿勢であり、毎日学校に登校し、きちんと授業を受けられているかということ

です。これは「あたりまえの基準」を自分でどこに引くかで、特に意識することなく、成長し続けられる要素です。「筆記試験を課すのは普段の頑張りを測るため」と、ある企業の方がおっしゃっていました。つまり、物事への普段の取り組み姿勢を測っていると言えそうです。

動の努力は、高い目標を掲げ、積極的に努力する姿勢と考えます。これは静の努力にプラスされて実現するものです。面接で自分を売り込むには、高校生活で力を注ぎ、続けてきたことがあると有利です。資格・部活動・趣味など、語れる自分がありますか。

周囲に馴染め、行動に安心ができ、将来に期待ができる人材を企業の方は求めています。みなさんが経営者であったとしたら、どのような人と一緒に仕事をしたいですか。

進学状況

昨年度は、県内外の私立大学、短期大学へ進学するとともに、看護をはじめ様

々な分野の専門学校へと進学いたしました。自らの可能性を信じて、さらなるステップアップを目指す生徒が増えてきています。今年度は、さらにその傾向が強まり、国立大学、有名私立大学への進学を志す生徒が多く見られます。目標実現のために真摯に取り組む姿勢は頼もしく、努力を重ねる中で、大きな成長を遂げていると感じられました。結果の如何にかかわらず、この挑戦は今後の人生の大きな糧になると確信しています。

入試制度について

文部科学省がすすめる大入学者選抜改革により、二〇二一年度より入試制度が大きく変わりました。これまでの入試を検証し、今後は①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3点をバランスよく評価することを目指しています。

入試方式は「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」となっており、出願の

時期は、「総合型選抜」が九月以降、「学校推薦型選抜」は十一月以降となり、「一般選抜」は十二月以降の出願となっておりますが、コロナ禍により日程の変更や、追試験の実施等臨機応変に様々な対策が取られています。出願の方法においても、郵送ではなく、Web出願が主流となっております。

試験の内容は、学力検査に加え、小論文・プレゼンテーション・集団討論など多岐にわたっています。大学によって内容が異なるため、オープンキャンパスなどに参加し、事前の準備をしっかりしておくことが不可欠なのを言うまでもありません。

多種多様な入試が行われているため、戸惑うことも多いかと思いますが、何よりも大切なのは、目標をしっかり持ち、その実現に向けてコツコツと努力を重ねていくことです。難しい状況の中、果敢にチャレンジしようとする生徒の皆さんを、保護者の方とともに私たち教職員も応援していきます。一緒に頑張りましょう。

人権教育課

◇人権ホームルーム学習の取り組み

（一年次）普遍的な視点からの取り組みと個人人権課題へ向けての取り組み。①人権学習アンケートから、②子どもの人権（いじめ・言葉遣い・アサーション）、③情報と人権（インターネットや携帯電話による人権侵害）、④障がい者問題（ユニバーサルデザイン・バリアフリーなど）、⑤身近な人権問題。

（二年次）個人人権課題に対する取り組み。①同和問題Ⅰ（解放令・水平社宣言）、②同和問題Ⅱ（識字学級）、③ハンセン病・HIV患者の問題、④性差別の問題について（男女差別・セクシヤルマイノリティ問題など）、⑤先住民問題。

（三年次）個人人権課題やさまざまな人権問題を解決する実践力を養う。①就職差別について、②就職差別につながると思われる14項目、③結婚差別、④世界の人権に関する諸問題等、⑤社会

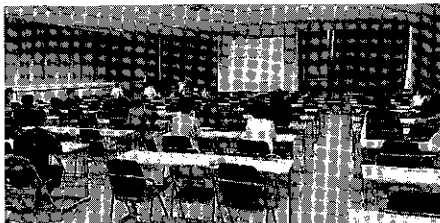
の中の個人人権の世紀に生きている、

◇人権問題教職員研修

七月十二日、講師に徳島大学総合科学部教授の饗場和彦先生（徳島県人権指導員）をお招きし、「北朝鮮問題と人権教育 ―政治と歴史と人権をどう教えるか―」という演題で講演をいただいた。

〈教職員の感想〉

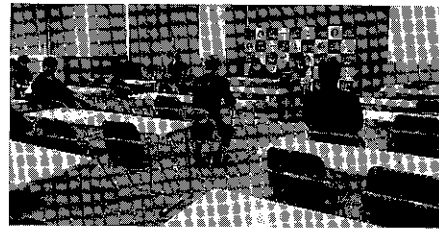
- ・北朝鮮の立場になって正しい知識をもって考えるところ「お互い様」であり新しい価値観に気づくことができた。
- ・丁寧に説明いただき北朝鮮を見直すきっかけになった。
- ・日本と北朝鮮の間の信頼関係の必要性を痛感した。
- ・多くの情報がある中、何が正しいか真偽を見極める力が必要で多角的に見ていかなければいけない。
- ・生徒への政治への無関心が



メディアアリティの能力を失わせているという内容にハッとさせられた。日常生活で感じる違和感に鈍感にならず学び続けた。

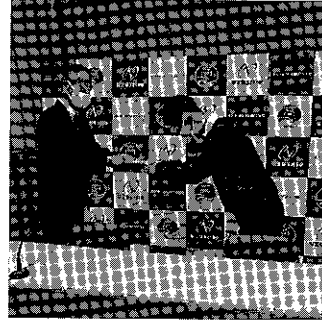
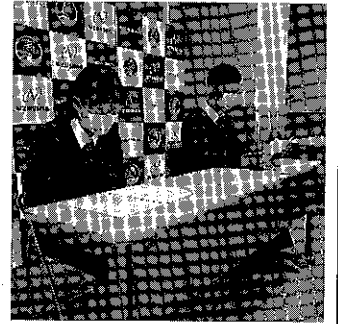
◇人権問題意見発表会

夏季休業中に生徒全員が人権作文を提出し、各クラスの代表者が



今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、渦潮ホールにて発表者12名が集合し、一人ずつ発表する模様を各教室の電子黒板に写しだした。

12名は人権に関する様々な問題をテーマに発表した。当日の運営は人権委員会、社会問題研究部が担当した。事後指導の感想は、「様々な差別について自分の考えをまとめて発表できていたことは、素晴らしいと感じ

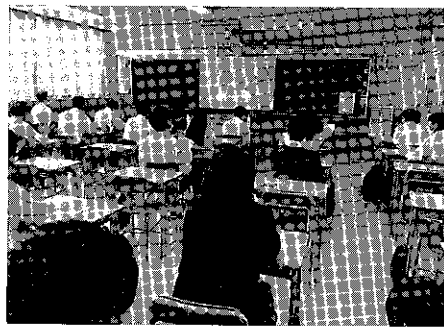


た。」「差別解消に向けて、自分にできることを少しでもやっていきたいと感じた。」意見発表会は、とても有意義な時間だった。との感想があった。

◇人権を考える日の実施
毎月一回、朝のホームルーム後の10分間を活用し、生徒・教職員が共に人権意識を高めるよう活動をしている。このうち学期に一回は、人権委員による「放送による人権を考える日」を実施している。

四月「アルフレッドアドラー心理学に見る人権教育

育」、五月「ドメスティックバイオレンスについて」、六月「高齢者への人権侵害について」、九月「新型ワクチン接種をしない人への配慮」他、二学期には電子黒板が設置され、各教室でZOOMによるオンラインで人権を考える日を実施した。

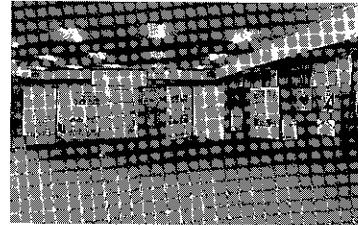


◇人権映画会

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、年次別で、会場を三クラスずつ二カ所に分かれて鑑賞した。一年次は十一月十六日の「街の灯」を上映した。また、三年次(十二月九日)と二年次(十二月十七日)は「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」を上映し、感想文を書いた。

◇社会問題研究部の活動

社会問題研究部は、新型コロナウイルス感染症対策のため四、六月は活動ができず、七月頃から少しずつ活動を始めることができた。十一月六日から十四日までの間、鳴門市人権文化祭に人権啓発パネルを作成・展示した。



また、十一月十八日の渦高祭では人権展に社会問題研究部の人権パネルを制作・展示した。

十二月十九日には、本校が「中・高生による人権交流集会」のサテライト校になり、運営に協力した。グループ協議など積極的に活動できた。



《教務課》

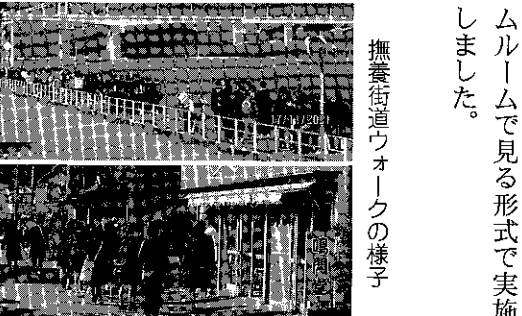
教務課は、教育課程(カリキュラム)の検討、時間割の作成、入学選抜事務、生徒の学籍・成績に関する事務処理、教科書に関する事務処理、年間行事の計画・調整、定期考査の運営など、多岐にわたり、学校運営の根幹となる業務を行っています。また、「産業社会と人間」総合的な学習(探究)の時間」の企画や「中学生オープンスクール」「課題研究・産業社会と人間発表会」の運営を行っています。教務課の主な取り組みを紹介します。

【学習週間・面接週間の実施】

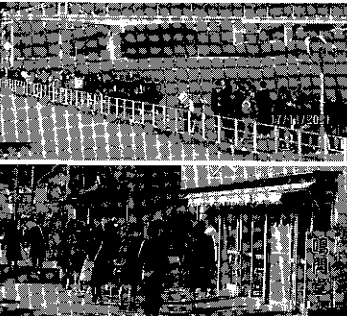
学習のPDCAサイクルの確立と学習習慣を定着させるために、定期考査の前後に学習週間・面接週間を実施しています。学習記録表の作成など、生徒の自主学習を支援しています。考査終了後は、生徒と担任が学習活動の評価・改善を行っています。

【課題研究・産業社会と人間発表会】

十二月二十二日に、二年次生が昨年度の産業社会と人間の最優秀発表のプレゼンテーションと三年次生がクラス代表として課題研究で行ったことを発表しました。電子黒板を活用し、渦潮ホールでの発表を各ホームルームで見える形式で実施しました。



撫養街道ウォークの様子



【通級による指導の導入】

今年度より三年次に通級

特別活動課

特別活動課は、生徒会活動や学校行事の計画・運営、部活動に関わることなどを担当しており、生徒のみなさんと関わりの深い課です。本校における特別活動課は、こういった活動を通して生徒の皆さんの自主的・主体的な活動を促し、一人ひとりの人間的な成長を目指しています。今年度も、生徒のみなさんの活発な活動が見られました。特別活動課の主な取り組みを紹介しましょう。

【生徒会活動】
生徒会活動では、生徒会役員や生徒会常任委員が主体となって学校行事を計画・運営しています。今年度の渦高祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から日程・規模を縮小しての開催となりましたが、皆さんからテーマを募集し、鳴門渦潮高校の特色を生かした文化祭を計画・運営し、成功させることができました。二・三年生の模擬店など

ドクラスで協力し取り組んだ成果が現れており、大変賑やかに、今まで以上に充実した文化祭になりました。また、体育祭では、鳴門・大塚スポーツパーク第二陸上競技場で競技を縮小して開催しましたが、学校全体が団結し成功させることができました。その他にも、あいさつ運動等のさまざまな取り組みをしています。

【学校行事】

学校行事の中には、壮行式や球技大会、文化祭、予餞会等、特別活動課主催の行事が多数あります。こういった行事を楽しみにくれている生徒の皆さんも多かったのではないのでしょうか。このような生徒の皆さん主体の行事は充実した学校生活の一部になっていると思います。これからも学校行事に積極的に参加して、楽しい高校生活にしてください。

【部活動】

鳴門渦潮高校は、部活動がたいへん活発に行われています。入部率も高く、皆

さんが積極的に部活動に参加しています。体育部・文化部を問わず、いろいろな部活動に積極的に入部することで、学校生活が楽しく充実したものになると思います。また、部活動で得た仲間や人との繋がり・達成感は、今後の人生にも大きな影響があると思います。特別活動課は、皆さんの学校生活が思い出深く、充実したものになるように、学校生活の活性化や行事の充実に取り組んでいます。

総務課

「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のなかでの取組」

総務課では、家庭・地域との連携や、PTA・同窓会などの運営、総合学科・スポーツ科学科のキャリア教育や特色ある取り組みを企画し、本校の教育活動の充実に向けています。

まず、「PTA」は、Parent-Teacher Association といつて、保護者と教職員

による教育関係団体のことです。本校でも鳴門渦潮高等学校PTAとして活動しています。PTA総会の運営や文化祭では「うどん」等の食品バザー、体育祭では熱中症対策で「冷たいドリンク」の販売等、学校行事をサポートしています。毎年4回のPTA研修を各系列の体験講座として企画しています。

また、鳴潮会（同窓会）

の運営には事務局として関わっています。本校の同窓会は、現役の高校生の教育活動支援を第一の目的としています。毎年七夕の前後に鳴潮会総会が開催されます。また二年毎の東京鳴潮会総会、三年毎の京阪神鳴潮会総会も開催されています。

総務課では、これらのように生徒・保護者・同窓生と教員を学校を軸として繋いでいく事業を行っています。以上のような内容について、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止を第一に考え、PTA総会・役

保健環境課

員会、鳴潮会総会・役員会をはじめ、各種研修会や学校行事が中止もしくは内容を減らしての開催となり、例年とは違う形での取組となりました。PTA・鳴潮会の各会長や役員の方々には急な変更等にも柔軟な対応をしていただき本当にお世話になりました。

現在、来年度の状況は分からないもののこれまでと変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

各活動を通して健康の保持増進を図り、主体的に健康管理ができるよう、さらに保健安全教育を充実していきたいと考えています。

△保健▽

定期健康診断、環境衛生検査、保健指導、健康相談等、一人ひとりの生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送ることのできる環境づくりを行っています。

十月には、日本赤十字社徳島県支部の職員をお招きして、教職員対象に新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた心肺蘇生法について研修を行いました。また、生徒対象に「生活習慣に関する調査」を実施

【本校生徒の体格状況】 (令和3年10月30日現在)

		15歳		16歳		17歳	
		男	女	男	女	男	女
身長	本校生徒	169.6	157.7	170.9	158.1	171	158
	県平均	168.2	156.5	169.9	157.1	170.1	157.4
	全国平均	168.8	157.3	170.2	157.7	170.7	157.9
体重	県平均	63.6	54.4	63.6	54.7	65.5	55.3
	県平均	59.6	51.7	62.1	52.7	63.4	52.5
	県平均	58.9	51.2	60.9	51.9	62.6	52.3

* (県・全国平均は令和2年度学校保健統計による)

△ 環境 ▽

今年度は新学校版環境I S O の継続申請を行い、チェック表をもとに、昨年同様ゴミの分別・節電等に取り組み、また、清掃チェックを通して、校内美化にも取り組んでいます。

△ 防災 ▽

五月 避難訓練
(地震・津波・火災)
六月 屋上への備蓄品搬送
シェイクアウト訓練

十一月 陸開門開閉体験
通年 防災通信発行

△ 厚生 ▽

主な奨学金について
○日本学生支援機構奨学金

- 徳島県奨学金
- 下村教育財団奨学金
- 原菊太郎基金奨学金
- カトリック・マリア会・セント・ジョセフ奨学育英基金
- 加藤山崎教育基金
- スポーツ応援プロジェクト
- みやもと基金

図書・情報課

より

図書・情報課長 井上 誠司

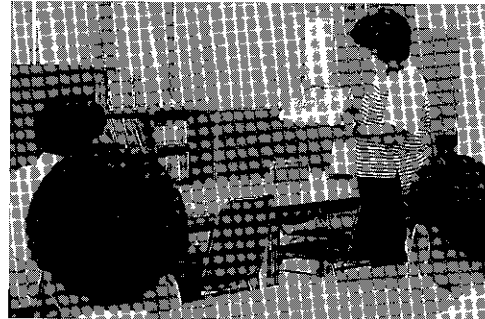
図書・情報課は、図書館や学級文庫など図書に関すること、校内の学習用パソコンや生徒用タブレットの管理など情報機器に関することを担当している課です。

【図書の業務】は、学校図書館の運営で、「蔵書管理」、「図書館サービス」、「行事の企画運営」です。今年度は、生徒や教職員の希望や意見を聴く機会を設け、多くの方に図書館の購入本を選んでもらいました。

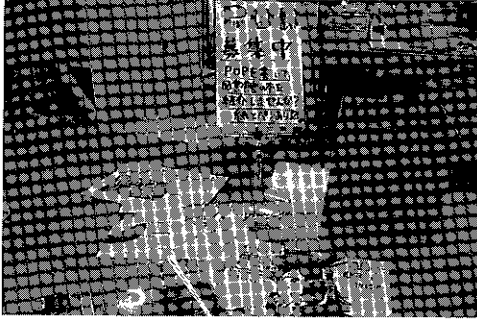
主な「行事」は、一年次生へのオリエンテーション、朝の校内読書週間、読書会などです。今年度は新しい試みとして、昼休み時間に「絵本の読み聞かせ会」を始めました。その他「図書委員の注目記事」「図書館だより」「本の紹介POP」の作成や掲示、新着図書やお

すすめの本を特設展示して、生徒が本と出会い、活字に触れるきっかけ作りに努めています。

絵本の読み聞かせ



本の紹介POP募集



さて最近、老若男女の活字離れが話題になっていきます。しかし、図書館を活用する授業で、図書館に来る生徒が、書棚内を巡りながら、いろいろな本を手にとっていました。決して活字が疎んじられているのではないと思わせられる光景に、図書館の環境がさらに良く、もっと身近になれば、活字と親しむ機会をもっと増やせられると確信をもちました。

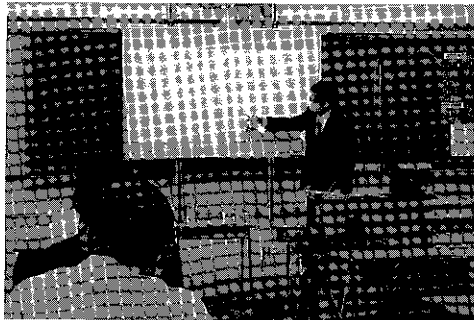
【情報の業務】は、ホームページでの情報発信や、タブレット活用の支援をしています。アンケート実施やその集計、欠席・遅刻の連絡もデジタル化し、教室には電子黒板が設置され、学校生活や学習スタイルが大きく変わりました。

タブレットを用いた学校生活が始まって間もない今の様子は、まだ途上です。通信環境の整備が確立しておらず、全員が一斉にタブレットを使うと通信が不安定になり、スムーズに活用することができていません。また生徒の管理という面で

「パスワードを忘れる」「タブレットを忘れる」

「充電ができていない」「操作不慣れ(シャットダウンができないなど)」「アプリ使いこなせない」などの課題、問題も明らかになりました。それ以外にも、机やロッカーからの落下による破損などの事故もあり、学校と家庭の両環境でのタブレット活用生活がより浸透するには、もう少し時間がかかりそうな状況です。

電子黒板を使った授業

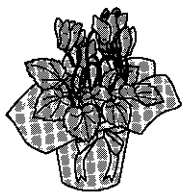


施設課

施設課は、躍進寮と至誠館の運営を担当しています。躍進寮は運動部専用の寮で、新設されて六年目になります。県外や県内の遠距離の生徒を中心に入室しており、自立した生活を送りながら部活動に励んでいます。

至誠館は主に、部活動の合宿に使用されています。しかし今年度は当初から新型コロナウイルス感染症予防のため部活動が活動中止になったので、部活動の合宿も再開されていません。状況です。一日も早く以前のような活発な部活動・合宿等が再開されることを願っています。

これからの両施設を有効に使用していただき、ますます鳴門渦潮高校が躍進することを期待しています。



UZU cafe

「UZU cafe」は、鳴門市大道銀天街に店舗を構え、商店街活性化に向け駄菓子等の販売を行っています。また、「鳴門」をPRできる取り組みを考え、地域貢献を目指して様々な活動を行っています。

NEXT(未来創造室)基金&地域連携 活動報告 スタジアム学園祭

今年度、昨年に続きコロナ対応を考慮しながら、一つでも新しい取組が出来ないかと運営委員会を重ねていました。夏が終わり、秋に入ると新型コロナウイルス観戦者が急増し、Zoomミーティングも第3回を最終として、今年度はイベント等の中止を決定しました。

【日時・場所】

二〇二一年十月二十三日(土) 大塚スポーツパーク

【対戦チーム】

大分トリニータ

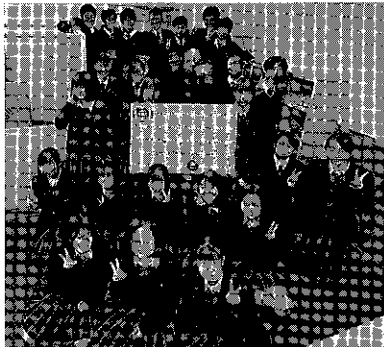
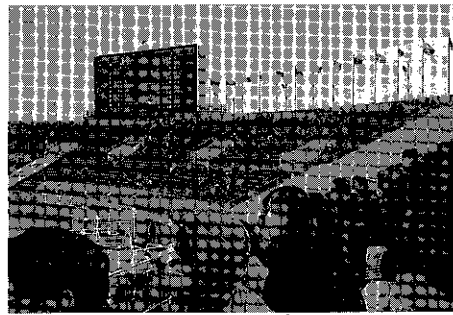
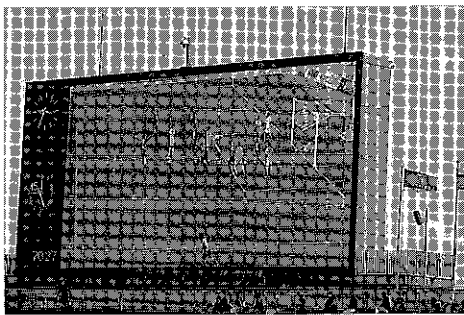
結果 1-1 引き分け

【参加生徒の感想】

26HR 櫻詰らのん

私は、今年度よりUZU cafeのスタッフに参加することになりスタジアム学園祭の担当となりました。「Zoom」によるリモートミーティングも新鮮で、徳島ヴォルティスの方々や他校の生徒とのやりとりは大変楽し

いものでした。でも、秋に入って新型コロナウイルスの流行が本県でも目立つようになり、残念ながら今年のイベントは中止となりました。
そのような状況でも、徳島ヴォルティスのスタッフの方々は何か私達のために出来ることをということと、応援メッセージボードの作成と、運営スタッフの招待を企画して下さいました。本校の生徒のみなさんがたくさん協力してくれて、素敵な応援ボードが完成しました。



普段の活動

シーズンが終わり、「J2」に降格してしまいましたが、徳島ヴォルティスのスタッフや選手のみなさんの頑張りを目の当たりにした私は、これからも徳島ヴォルティスをずっと応援したいと思いました。来年こそ、以前のようにながのみなさんでスタジアムを沸かせ、「J1」への復帰に貢献したいと思います。来年の活動が楽しみです。

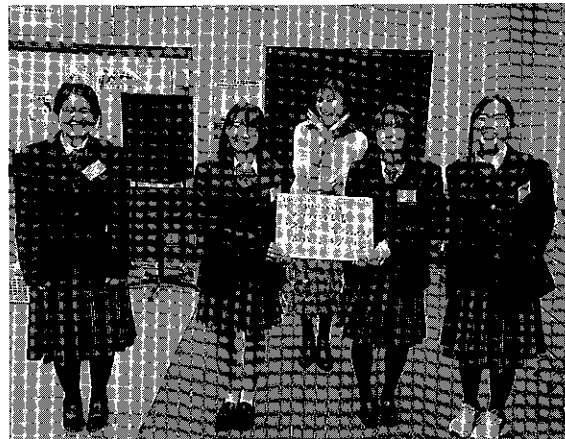
場所 鳴門市大道銀天街
時間 平日：16時～17時30分
長期休暇：13時～16時
内容 駄菓子等の販売

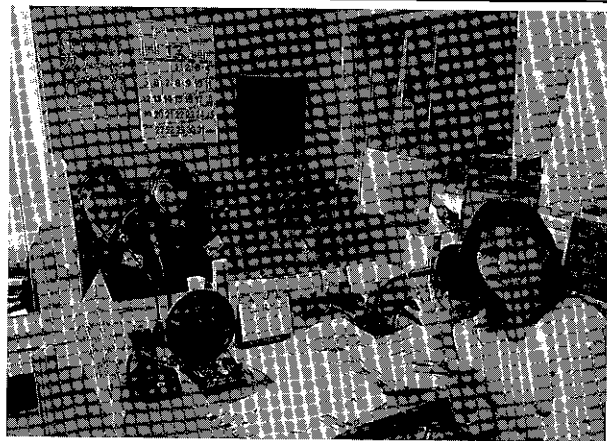
今年度の今年度の活動

◆ラジオ番組に出演

JRTラジオ『となりのラジオ』

JRT四国放送ラジオの番組『となりのラジオ』に準レギュラーとして出演することになりました。昨年の取組である『祝菓子 鳴門渦潮三景』の紹介を皮切りに、UZU cafeの新しい取り組みを発表する機会を得ることが出来ました。UZU





cafeの役割は「UZUcafe調査隊」としてイ

マドキの高校生ト
レンドを調査して
リスナーの皆さん
に伝えるという内
容です。これまで

「食」をテーマに
「冬を感じさせる
の食べ物(食材)」
についての調査や

「女子高生生のメ
イク事情」、「オト
ナもすなるお茶と

いうものゝ高校生もやっちゃいます」などの調査を發表してきました。私たちが調査した結果に対して、意外なほど多くのリスナーの方が反応してくれました。調査内容は次のようなものです。

【調査内容】

○「冬を感じさせる食べ物(食材)」

第1位 お鍋 15 (食材：白菜5、豆腐4、キムチ

種類：豆乳鍋2、ミルフィーユ鍋1、

水炊き1)

第2位 おでん 11 (大根6、

卵2、こんにゃく2)

第3位 みかん 6

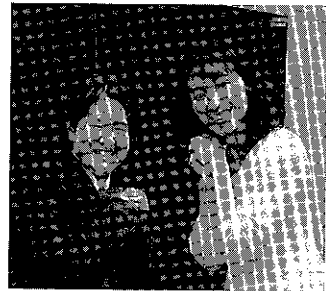
第4位 シチュー 5

第5位 雪見だいふく 4

中華まん 4 (肉2、

あん1、ピザ1)

ぜんざい 4



以下は次の通り

メルティーキッス 3

お餅 2

焼き芋 1

栗 1

ホットチョコレート 1

計57人

その他に次のような内容について報告しました。

○「女子高生生のメイク事情」

1 マストなアイテムは？

例 チーク、リップ、アイ

ライン等

2 いつするのか？

例 休日、デートのとき、

毎日等

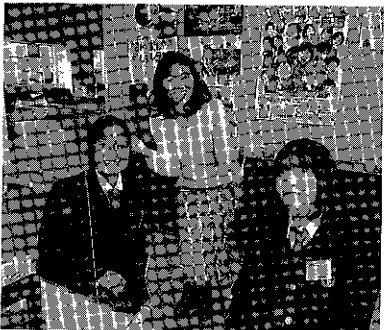
3 見て欲しい対象は？

例 女友たち、男子・彼氏、

無し(自己満足)等

4 「男子が思う女子高生の服装やメイクは」

○「オトナもすなるお茶というものゝ高校生もやっちゃいます」

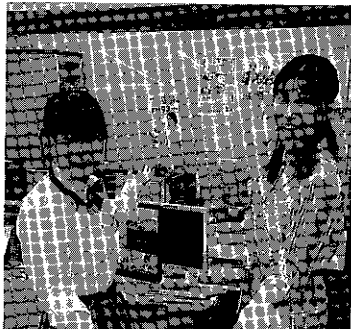


【リーダーより】

26 HR 岡川 菜央

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校生活や行事など、様々な活動が制限されることになりました。UZUcafeでも、これまでの活動は全てとって良いくらい出来なくなりました。

顧問の谷本先生と一緒に、コロナ禍でも取り組める活動を考えて、ラジオで高校生の生活を話させてもらったり、本校職員室や近隣事業所



での無人販売を強化したりしました。私たちの活動をもっと知ってもらうために、渦交祭文化祭では欠品が出ないように仕入れなど商品管理をしっかりと準備して臨み、生徒の皆さんから驚くほど喜んで利用していただけなのが今年の活動の中

で、ラジオ放送と同じくらい強く印象に残りました。

このことを受けて、来年度からは通常日の校内販売を始められるように準備を進めています。活動の幅を広げられるよう日々努力していきますので、今後ともUZUcafeをよろしくお願ひします。

